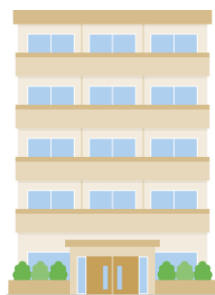


なにか しないと

加藤誓 (ちかい)

カビ防止のためキッチンハイターを薄め
風呂室を天井から全て拭き
銀イオンの燻煙もした。
洗濯機もカビ防止を施した。
洗面台を磨き、部屋のクーラー、
網戸 窓ガラスも ピカピカになった。



マンションは、バリアフリーで比較的快適な空間である。
しかし庭や土もなく、どこかを、改造したりする
楽しみがほとんどない空間でもある。
何かすることがないか周りを見渡し、
ベランダの観葉植物に気付き、水もやった。

さあ、困った。やることがない。
つい、女房の分野である炊事、洗濯、部屋掃除に
手を出す。但し、トイレ掃除は御免なさい。
手伝うわけではない。
「やれそこ、やり方が違う。順序が違う！」
自分の流儀を主張し、結果は あら捜しとなる。



女房は、体操教室の関係で、週4日外に出ていたが、
このご時世、家に居る時間が長くなっている。
家庭会話の変化は、想像にお任せとする。



極楽浄土は、何不自由なく、
素晴らしい風景と音楽に包まれたところと聞く。
はて、天国では 何もしなくて良い状態が
いつまで続くのか。永遠なのか。
時にはイベントや大会や
いざこざは ないのだろうか。
もし逝くとしたら
地獄はいやだし、何もすることがない 天国も嫌だ。

酒を飲みながら考えていたら、寝てしまっていた。

